

世界の森林は刻々と減少  
 していきま  
 す。  
 そのスピードは、5年間で日本の総面積分に



私たちにも出来ることがあります。  
 「違法伐採された木材」製品を買わない、という選択。

世界規模で刻々と森林が失われています。  
 その原因のひとつが海外で行われている違法で無秩序な伐採です。  
 そしてこれらの木材は日本に輸入され、  
 私たちの周りに潜んでいるかもしれないのです。  
 緑の地球を救うために、まず「違法に伐採された木材」があることを知ってください。  
 そして木材製品を購入するときには、合法木材を使用しているかを確認してください。



左記のマークが付いている木材・木材製品は、  
 合法性が証明されています。



フェアウッド・キャンペーン <http://www.fairwood.jp/>  
 環境に配慮し、社会的に公正な木材(フェアウッド)の利用を、消費者や企業などに呼びかける活動をしています。

お問い合わせ先：■フェアウッド・キャンペーン事務局(財団法人 地球・人間環境フォーラム内) TEL:03-3813-9735  
 ■環境省地球環境局環境保全対策課 <http://www.env.go.jp/>



マンスリー共販  
 スギ原木の平均価格が  
 下げ止まる  
 2月

二月上旬の森連共販平均価格は、スギ柱用材が前月比<sup>①</sup>当たり三百円高の一万千円、同中目材は前月比同値の一万二千三百円となった。

ヒノキは柱用材が前月比三百円安の一万八千六百円、同中目材は前月比三百円安の二万七千円となった。

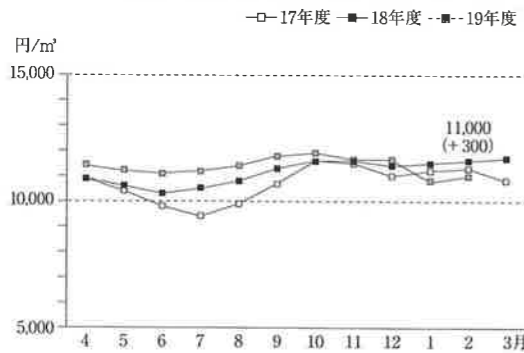
三ヶ月連続で値下がりしていたスギ原木の平均価格が二月に入り下げ止まった。

山からの出材が降雪等による影響を受けて、各共販所への入荷量がやや少なめで推移し、安値傾向で動いていた原木相場に歯止めが掛かる形となった。

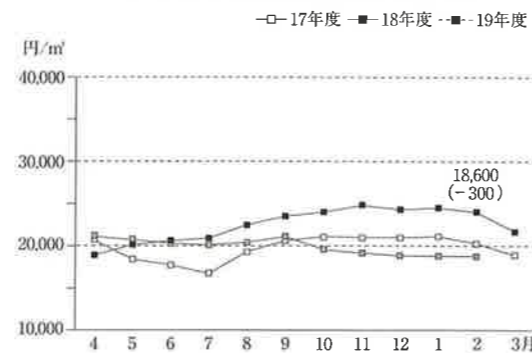
こうした中、原木相場は地域によってバラツキがあり、原木の品薄感による反発相場、良質材の活発な荷動きによる強気相場、入荷量の増加に伴った弱気相場と地域によって開きが出ている状況にある。今後、製品の荷動きが回復し、製材工場の在庫調整が進めば、価格も底上げし活発になるものと予想される。

スギ・ヒノキの平均価格と販売量

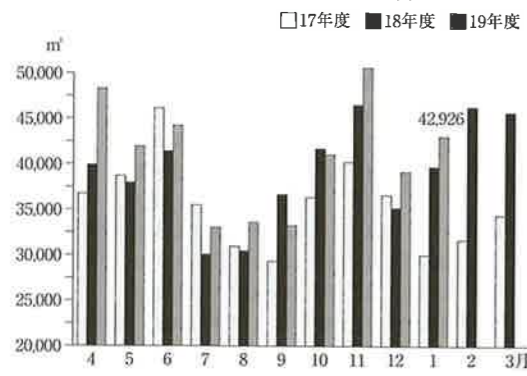
スギ柱用丸太価格 (各月上旬中値)



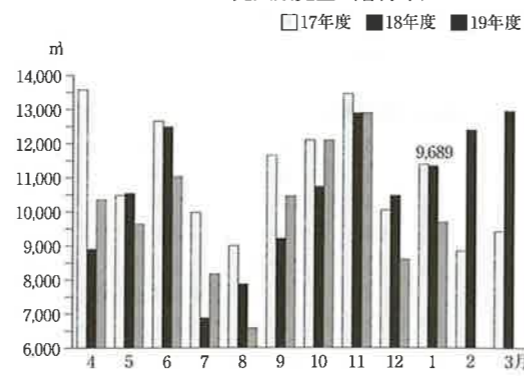
ヒノキ柱用丸太価格 (各月上旬中値)



スギ丸太販売量 (各月末)



ヒノキ丸太販売量 (各月末)



(森連21共販所：全森連系統事業部調べ)